



田中 弘 議員

公民館の再編について

問

中山地域、双海地域の公民館組織を再編すると聞く。

中山地域では、四公民館があり多彩な行事を行い、地域住民の交流、生涯学習の拠点として独自の活動を活発に行っている。

公民館の再編については、地域の意見をお聞きいただき、現状維持をお願いしたい。

答 上田教育長

現在、中山・双海地域における様々な地域振興事業は、公民館が中心となっており行っているのが実情である。

しかし、今後ますます厳しくなる財政や地域との協働と参画による社会づくり、団塊

世代職員の大量退職等を考えると、現状のままでは公民館が地域を支え続けることは困難で、将来的には公民館の再編はやむを得ないと考えられる。

しかし、今すぐに再編というわけではなく、平成二十一年度をめどに、二年間で地域力やリーダーの育成に力を注ぎながら、各地域の活性化や融和が図れるよう公民館長や公民館運営委員、地域リーダーの方々との対話を密にして、再編を行っていききたい。

このことは今、全市を挙げて取り組んでいる地域の自立、特色ある地域の確立にもつながるのではないかと考えている。

体育行事に関しては、伊予市体育協会の行事と地域コミュニティの公民館体育事業は、目的を異にするものである。地域コミュニティの体育行事、運動会等は地域リーダーの育成をもって継続、発展させたいと考えている。



公民館活動

安全管理について

問

郡中小学校で起きた転落事故は、痛ましく残念なことであり、児童の一日も早い回復を願うものである。

事故後の児童、保護者への対応、今後の事故防止対策として施設の点検、緊急時の連絡体制等、危機管理の確認等について伺いたい。

答 上田教育長

今回の事故は、設置者として深く反省している。

児童、保護者への対応は、事故発生時から担任は連日、管理職等も可能な限り病院へ出向き、被害児童の保護者との連携に努めている。なお、保護者には事故現場でPTA

会長や関係教職員立ち会いのもと、校長が事故の詳細の説明と謝罪を行っている。

他の児童に対しては、全校集会で安全な生活についての指導や、全学級での話し合い、さらには児童の心のケアに努めているところである。

他の保護者に対しては、事故の概要説明とお詫びの文書を配布するとともにPTAの諸会合や広報紙等によって、事故の再発防止と今後の児童への指導や教育方針についての御理解と御協力をいただけるよう努めている。

また、三月二日には市長、教育委員会事務局長とともに病院にお見舞いに行った。保育所、幼稚園、学校施設の安全点検については、毎学期一日以上の施設整備等の安全点検が義務づけられており、実情に応じて毎月一回以上計画的に実施している。点検結果に応じて、施設の整備・修繕、立入禁止や使用禁止の措置を行っている。また、年度当初に修理、修繕の必要な箇所を把握し環境整備を進めている。

事故の予防策は、三月二日の市内校長会で児童、生徒の安全確保と施設整備等の安全

点検について指導した。

その後、全小中学校に対し事故発生の可能性がある潜在危険箇所を学校敷地内全域で調査した。

その報告に基づき、緊急性を要する箇所から順次対応していく予定である。

緊急時の学校から教育委員会への連絡体制は、従来、年度当初に市内校長会で連絡体制の共通理解を図り、電話連絡、文書での事故速報様式を定め、事故発生や事実が明確になり次第、順次報告をしていくようになっていく。

また、市教育委員会から松山教育事務所への連絡も随時行っている。教育委員会から市への連絡体制は、児童、生徒が病院に搬送された場合には、直ちに連絡をしている。現在は、一日も早い回復を願っている。

また、今後学校環境整備や安全管理体制、教職員の指導のあり方などの充実を通して、子どもたちが安全で安心して楽しい学校生活を送れるよう鋭意努めていきたい。

その他の質問事項

・行財政改革